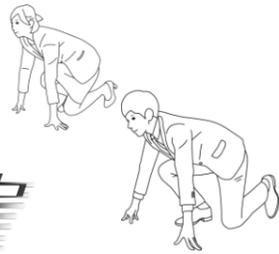


火災予防の話を 準備できてます



消防署では、住民の皆さんに対して火災予防についてお話をする機会を求めています！
概ね10人以上から申込ができますので、各署予防課にお気軽にお問い合わせください。
講話時間は30分から60分程度、平日の9時から17時までの間でご相談ください。

内容 以下の内容を実施できます。(講話+実演の組み合わせも可能です。)

講話 たばこやストーブなどの火災予防対策 / 電気関係火災の予防対策

実演 電気実験装置による電気火災のデモンストレーション
※特殊な装置を使って、コンセントからの出火などを再現できます。

中署



住宅用火災警報器付けてますかー!?
設置する必要性や点検方法をお伝えします！

岸田 予防課長 ☎ 082-546-3511

東署



電気火災の件数が減っていません。
電気火災の怖さと予防方法をお伝えします。

中村 予防課長 ☎ 082-263-8401

南署



火災による死者の多くが高齢者です。
火災予防の注意点を映像を交えてお伝えします！

近重 予防課長 ☎ 082-261-5181

西署



そろそろストーブの季節ですね。
安全な使用方法と注意点を教えます！

守屋 予防課長 ☎ 082-232-0381

安佐南署



実はたばこを原因とする火災はまだ多いです。
油断禁物!日頃から始末は適切に

松本 予防課長 ☎ 082-877-4101

安佐北署



管内の住宅用火災警報器の点検率はワースト・・・(>_<)
点検方法をお伝えします！さあ点検！

柴村 予防課長 ☎ 082-814-4795

安芸署



こんろから目を離していませんか?
当たり前のことが火災を減らす第一歩です！

林 予防課長 ☎ 082-822-4349

佐伯署



火災予防広報に力を入れています。
住宅防火のポイントを分かりやすくお伝えします。

吉川 予防課長 ☎ 082-921-2236

自主防災 ひろしま

自助
共助 公助

2024年 秋・冬
<No.264>

編集・発行
広島市危機管理室
082-504-2664

今年1月には令和6年能登半島地震、8月には日向灘を震源とする地震が発生し、初めて南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)も発表されました。

地震はいつ、どこで起こるかわかりません。今一度、地震への備えについて確認しましょう。

平時の備え

- ・ハザードマップや「わがまち防災マップ」で危険な区域や避難場所の確認
- ・災害時に情報を入手できるように
避難誘導アプリのダウンロード、防災情報メールへの登録
- ・家庭内備蓄の見直し
食糧と飲料水は最低でも3日分、できれば1週間分用意
- ・非常持ち出し品の準備 家族の人数分用意
- ・家具の固定、避難経路の確保、家の周囲の安全を確認 など……

避難誘導アプリ
ダウンロード▶



防災情報
メール登録▶
空メールを送信してください。



もし地震が起こったら……

- 1 まずは身を守る
- 2 揺れが収まったら
 - ・靴を履いて足元のけがを防ぐ・火が出ていたら消火する
 - ・ドアや窓を開けて出口を確保・ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉める
 - ・テレビやラジオ、スマートフォンで情報収集
- 3 避難の判断 →自宅にとどまるのが危険な場合は避難 →自宅が安全と判断したら自宅待機

市による補助制度

住宅の耐震化補助事業

住宅の耐震改修や建て替えなどに対して、費用の一部を補助します。

地震で住宅が倒壊すると、住人の命を脅かすだけでなく、火災による二次災害発生の恐れがあります。被害を最小限に抑えるため、住宅の耐震化は重要です。

- ・住宅耐震診断補助 6313
- ・住宅耐震改修等補助 6326
- ・耐震シェルター等設置補助 6350

問合せ先：都市整備局住宅部住宅政策課
☎082-504-2292

住宅防災・減災対策工事補助

▼詳しくは本市HPで

住宅防災対策工事補助

273597

地震により倒壊の危険性があると判断された住宅等の基礎となる擁壁に対し、所有者等による耐震改修を目的とした対策工事を行うために必要となる費用の一部を補助します。

住宅減災対策工事補助

273642

崖崩れの発生が予想される崖や崖崩れが発生し二次災害のおそれがある崖に対し、所有者等による被害の軽減を目的とした対策工事を行うために、必要となる費用の一部を補助します。

問合せ先：下水道局河川防災課
☎082-504-2377

地域の防災訓練の紹介

令和5年度から、自主防災会が、より充実した防災訓練を実施できるよう防災訓練補助金を拡充しています。補助金を活用して実施された3つの訓練を紹介します。

とんど祭りで消火訓練（令和6年1月、矢野南中央公園）

矢野南学区自主防災会連合会の主催により、とんど祭りとあわせて消火訓練が行われました。参加者は消防団員の指導の下で消火器を使い、初期消火の訓練を行いました。豚汁やぜんざいの炊き出しもあり、新年に地域で楽しみながら防災を学びました。



地震を想定した訓練（令和6年7月、井原小学校）

井原学区自主防災会連合会の主催により、地震を想定した避難訓練が実施されました。参加者は避難訓練メールとサイレンでの訓練開始を合図に、小学校に避難しました。訓練後は気象予報士による講演会や消防団、消防署による応急搬送手順・救急救命の実演指導も行われ、地震への備えについてじっくりと学ぶことができる行事でした。



わがまち防災マップを活用したウォークラリー（令和6年7月、瀬野学区清山団地）

清山自主防災会では、平成30年7月豪雨災害が起きた7月6日を「防災の日」として定めています。今年はこの「防災の日」の翌日にウォークラリーを実施しました。団地のそばに国道2号東広島・安芸バイパスが開通したことで避難路が増えるなどの変化を踏まえて「わがまち防災マップ」の更新を行いました。地域の特性を理解することで、いざというときスムーズに行動できます。

防災行政無線の屋内受信機を無償で貸し出します

今年度から、土砂災害警戒区域等の災害危険区域に居住する一定条件を満たした高齢者世帯に、防災行政無線屋内受信機を無償で貸し出す制度を実施しています。

利用者の方の声

日中、家で一人で過ごしている母が防災情報を確実に入手できるよう、今年の8月から設置しています。

実際に大雨の注意喚起が流れているのを聞いて、きちんと情報提供されているとわかり安心しました。いつでも聞こえる場所に設置しています。



対象

次のすべてに当てはまる世帯(1世帯当たり1台)

- ・土砂災害警戒区域等の災害危険区域に居住し、満65歳以上の方のみの世帯
- ・携帯電話、スマートフォンを持っていないか、電話以外の操作が不安な世帯

※申請方法等の詳細は、危機管理室災害対策課（☎082-504-2831）や各区地域起こし推進課までお問い合わせください。

▼詳しくは本市HPで

371706



屋内受信機は、広島市が発信する避難情報や緊急地震速報などの防災情報の放送を聞くことができます。



地域防災リーダーの活動紹介

防災士の資格を取得した地域防災リーダーは、1,500名を超え、各地域で活動されています。このうち、女性の割合も徐々に増えつつあります。地域の防災活動には男女双方の参画が必要です。地域で活動する女性の地域防災リーダーを紹介します。

佐藤 真紀子さん（五日市学区・平成28年度資格取得）

過去の被災経験を踏まえ、地域に恩返しをしたいという思いから防災士の資格を取得され、市防災士フォローアップ研修等を通じて、地域や人との繋がりを深め、徐々に活動の幅を広げています。

ご本人によると「最初は、何をすればよいか全くわからなかったが、地域の防災行事に顔を出すことで徐々に繋がりが生まれ、楽しく活動ができるようになった。」とのことでした。

そんな佐藤さんを見て、長女の愛さんも令和5年度に防災士の資格を取得。今後は「家族の力で地域の防災活動に貢献していきたい。」と二人の意気込みを語っていただきました。

※以下は、佐藤さんが携わられた3つの取組です。



▲愛さん ▲真紀子さん

長期の避難所生活を想定した避難所運営訓練（令和5年11月、吉島中学校）

中区自主防災会連合会等の主催により、地震を想定した避難と避難所運営訓練を実施し、地域住民約250名が参加しました。

地域住民の皆さんが、実際の避難所をイメージしやすいよう、寝床・物干しスペース、情報コーナーを再現し、グループに分かれて、運営のポイント等を学びました。佐藤さんは物干しスペースを担当され、「物干しスペースではプライバシーに配慮する必要があり、特に女性への配慮は欠かせない。また、避難所の運営スタッフには積極的に女性に参加していただき、その意見を聴くことが大切。」と女性視点の解説をされていました。参加者は説明を熱心に聴き、積極的に質問していました。



地域と学校が連携した防災教育（令和6年5月、藤の木小学校）

小学校3年生を対象に、防災に関する授業を実施しました。実施に当たっては、地域の防災士に佐藤さんがこれまでの経験を踏まえアドバイスし、企画しました。

前半の学校のまち歩きでは、学校周辺の危険箇所や、学校の備蓄倉庫の確認などを行いました。後半は佐藤さんによる防災マップの見方や防災情報の入手方法などの説明があり、最後に、児童が各自の避難場所や家族の連絡先を記載したキャラクターの「防災お守り」を作成しました。

佐藤さんは「防災を楽しく学ぶことがポイント。子ども達には「防災お守り」をお家に持ち帰り、家族で防災を話し合ってもらいたい。」と話していました。

弁護士を招いての防災研修会（令和6年6月、五日市小学校）

五日市学区自主防災会連合会の主催により実施され、約30名が参加しました。

このセミナーでは、佐藤さんによる防災講座の後、佐藤さんも親交のある、広島県災害復興支援士業連絡会の今田健太郎弁護士による生活再建のポイントを伝える講演が行われ、参加者は、「少し知っておくだけで生活再建のスピードが変わってくる。」と理解を深めていました。

